

地域資源から

新しいアイデアを

生み出す問題集

—— 愛知県岡崎市羽根町編

IDEA BOOK

アイデア ブック



生まれも育ちも岡崎ですが、大学卒業後の人生は岡崎ではないと考えています。地元が嫌い言うわけではありません。全国各地、似たような風景、歴史、気候です。全く同じではないにしても、要素で捉えれば、ほぼどこも突出していません。

しかし、就職は地元でしたいという人もたくさんいると思います。その人に理由を尋ねても、納得する理由は見つかりません。私は岡崎のいいところをいっぱい知っています。私の目に移る岡崎だけが岡崎ではないと思います。大切なのは、誇りを持って地元を語れるか。将来、そこに住む住まないは別の話です。

私は、岡崎で育ったことに誇りを持っています。その理由を、人に焦点を当てて、岡崎を語りたいと思います。

作者プロフィール

浅井ゆうみ

福知山公立大学
地域経営学部地域経営学科 1 年生 (2017 年入学)

わたしは今、京都に住んでいる経営を学ぶ大学生です。人生の半分以上、和太鼓を打っていて、人生観の半分以上、和太鼓から学んだことで構成されています。ものが溢れる社会の中で、これから先のものづくりの行方を考えています。消費者ではなく、立派な「ものつかい」になれるように、与謝野で繊維や農業のプロジェクトをしています。

発行日：2018 年 3 月 1 日
著者：浅井ゆうみ（福知山公立大学地域経営学部地域経営学科 1 年）
発行：福知山公立大学地域経営学部地域経営学科
塩見直紀研究室（特任准教授 090-6249-6539）
620-0886 京都府福知山市字堀 3370 福知山公立大学内
0773-24-7100 <http://www.fukuchiyama.ac.jp>

※本冊子は福知山公立大学の平成 29 年度「先導的教育プログラム推進助成事業」を活用して制作しています。

Q1

岡崎は八丁味噌の街！
味噌ファンのためのイベントへの
アイデアは？

1

2

3

Q 2

■ (自称) 日本一小さな太鼓店があるけど、
どうしたら多くの人に音を届けられる？

1

2

3

Q 3

■ 岡崎の花火大会、
good spot best10 はどこ？

1

2

3

Q4

くらがり溪谷の自然の良さを
アピールできるか？

1

2

3

Q5

岡崎人とは？岡崎に生きる人を構成する
7ルールとは？
岡崎っぽさを可視化するためには？

1

2

3

Q 6

■ オレにしか分らん岡崎のマニアックな
good point は？

1

2

3

Q7

オカザえもんを全国区にするためには？

1

2

3

Q 8

山も川もある。
季節を感じられる所である。100 景は？

1

2

3

Q9

職人さんのあれこれ
(あれなことから、これなことまで)

1

2

3

Q 10

岡崎の音を録音するためには？
(伝え方、アウトプットの仕方)
岡崎の色と触れるようにするには？

1

2

3

Q 11

■ 岡崎という土地に必要な土の人、
風の人、水の人とは？

1

2

3

Q 12

■ 方言「じゃん・だら・りん」を
若い人に使ってもらうためには？

1

2

3

Q 13

岡崎を囲む市町村からみた岡崎は？

1

2

3

Q14

■ 全国の城下町と岡崎の城下町の
似て非なるところは？

1

2

3

Q 15

愛知トリエンナーレなど、アートをもっと身近に感じてもらうには？

1

2

3

Q 16

“おかざきっ子展”という小中学生が
作った作品を展示会を
もう一味たすには？

1

2

3